

第3章

「財政見通し」と 決算見込額との 比較分析

1. 計画額と決算見込額との比較

(単位：百万円)

歳入（一般財源）	2019年度（令和元年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	89,638	98,556	8,918	
市税	67,591	68,974	1,383	徴収率の向上などにより、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	11,432	12,433	1,001	主に地方交付税が増加したことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	3,572	5,694	2,122	主に財政調整基金繰入金が増加したことにより、計画額を上回りました。
その他	7,043	11,455	4,412	前年度繰越金が見込みを上回ったほか、臨時財政対策債なども計画額を上回りました。

(単位：百万円)

歳出（一般財源）	2019年度（令和元年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	92,816	94,049	1,233	
義務的経費	40,970	41,461	491	
人件費	20,629	20,869	240	人件費は、退職手当及び嘱託員・臨時職員人件費は計画額を下回る一方で、正規職員の人件費が計画額を上回り、人件費総額として計画額を上回りました。
正規職員	17,882	18,154	272	
うち退職手当 （定年退職者分）	1,224	988	△ 236	
嘱託員・臨時職員	2,747	2,714	△ 33	
扶助費	13,918	13,667	△ 251	生活保護費、児童福祉費、社会福祉費などが計画額を下回りました。
公債費	6,423	6,925	502	利子償還金が計画額を下回ったものの、元金償還額が計画額を上回りました。
その他の経費	51,846	52,588	742	
繰出金等	18,720	16,273	△ 2,447	国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、下水道事業会計、後期高齢者医療事業会計への繰出金が計画額を下回りました。
事業費	33,126	36,315	3,189	
経常事業費	23,157	26,210	3,053	財政調整基金への積立金などが計画額を上回りました。
政策的事業費	7,702	7,872	170	継続的に取り組んできた歳入確保策により、事業費に占める特定財源の割合が伸びたため、一般財源ベースで計画額を下回りました。
1 将来を担う人が育つまちをつくる		1,418		小・中学校における教育情報化の推進、町田第一中学校や鶴川第一小学校の建替え、保育園や子どもクラブの整備などを行いました。
2 安心して生活できるまちをつくる		617		がん予防対策として各種がん検診等の実施、障がい者の相談支援、住宅の耐震化支援、玉川学園コミュニティセンターの建替え整備などを行いました。
3 賑わいのあるまちをつくる		1,837		南町田グランベリーパーク駅周辺地区の拠点整備や、野津田公園、薬師池公園、芹ヶ谷公園の整備、シティプロモーションの取り組みなどを行いました。
4 暮らしやすいまちをつくる		906		循環型施設の整備、道路の整備、多摩都市モノレール延伸や鶴川駅周辺の街づくりに向けた取り組みなどを行いました。
5 行政経営改革プラン		72		「町田市公共施設再編計画」の策定に向けた取り組みや、事務事業の見直しなどを行いました。
6 公共施設維持保全事業		958		室内プールや市民ホールの改修工事や、小・中学校などの公共施設の長寿命化工事、橋梁改修工事などを行いました。
7 その他		2,064		多摩都市モノレール駅周辺の基盤整備等に向けた基金への積立てや用地取得、小・中学校の体育館に空調設備を設置するための取り組みなどを行いました。
システム経費	2,267	2,233	△ 34	システム経費は計画額を下回りました。
歳入一歳出 （収支差額）	△ 3,178	4,507	7,685	

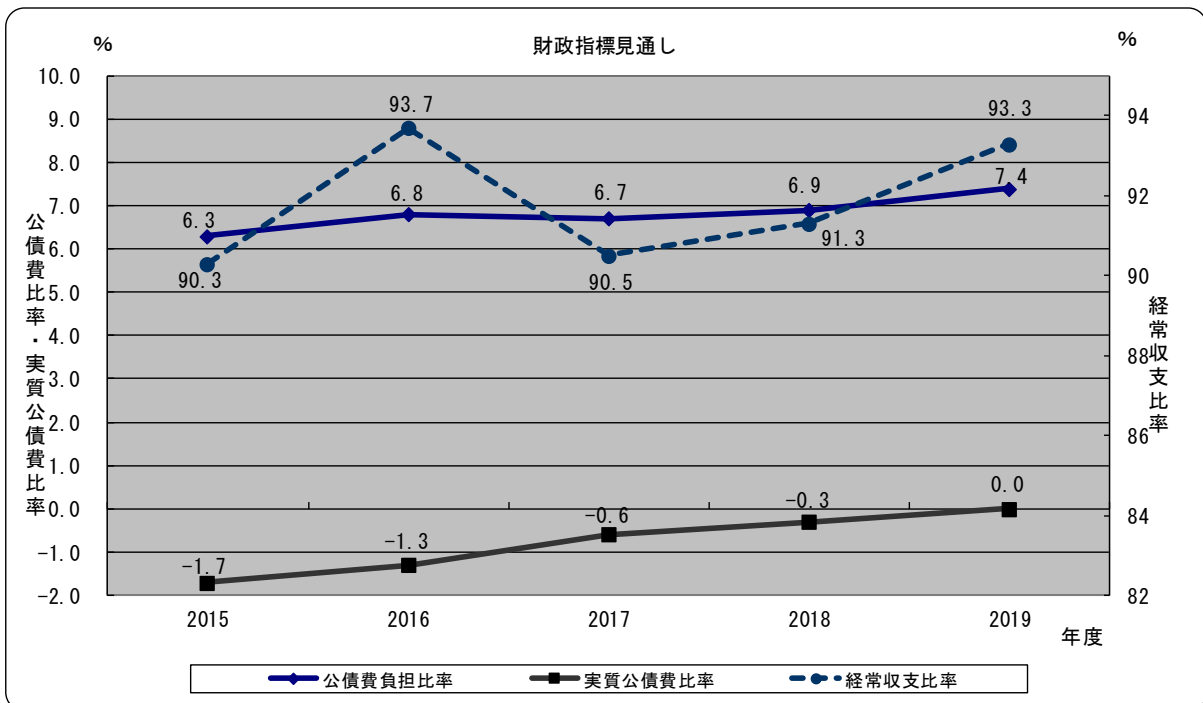
2. 2019年度（令和元年度） 財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2019年度（令和元年度）			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率（％）	93.7	93.3	△ 0.4	分母に算入される臨時財政対策債や地方交付税などの増加により、計画数値を0.4ポイント下回りました。
公債費負担比率（％）	6.9	7.4	0.5	分母に算入される一般財源総額などの減少により計画数値を0.5ポイント上回りました。
実質公債費比率（％）	0.1	0.0	△ 0.1	公営企業（病院、下水道）を含む市全体の実質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高（億円）	75	(※) 79	4	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2020年(令和2年)5月31日現在のものです。

- ◆経常収支比率…… 市税などの経常的な収入（分母）が、人件費や扶助費などの経常的支出（分子）にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆公債費負担比率…… 公債費（市債の償還に要する経費）が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆実質公債費比率…… 一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆財政調整基金…… 大幅な税収増や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金（積立金）です。



町田市5ヵ年計画17-21
2019年度の取り組み結果

2020年8月発行

発 行 者 町田市
〒194-8520
町田市森野2-2-22
042-722-3111
編 集 政策経営部経営改革室
刊行物番号 20-15